

ハイチに関する閣僚級会合（概要）

平成22年1月26日

中米カリブ課

1. 会合の概要

- ・ 1月25日、モントリオール（カナダ）において、ハイチに関する閣僚級会合が開催され、我が国より武正公一外務副大臣が参加。
- ・ 同会合には、武正副大臣のほか、キャノン外相（加、主催）、クリントン国務長官（米）、クシュネール外相（仏）、ベルリーヴ首相（ハイチ）やEU、スペイン、中南米諸国、国際機関等の各代表が出席。

2. 議論の概要

- ・ 会合では、緊急人道支援の継続を確認するとともに、国際的な援助調整の必要性を強調。
- ・ 被災後の復興ニーズ評価を迅速に行い、3月にニューヨークで国際会議を開催する方針が示された。

3. 我が国の支援策

- ・ 武正外務副大臣は日本の新たな支援策として、国連ハイチ安定化ミッション（MINUSTAH）に自衛隊部隊を派遣する用意があること、また、総額7000万ドルの支援を行う用意がある旨表明。
- ・ ベルリーヴ・ハイチ首相より、我が国支援に対し、謝意が表明された。

4. 各国との個別の意見交換等

- ・ 武正副大臣は、この機会に米、加、仏、ブラジル等の各国外相とも個別に会談や意見交換を実施。
- ・ 特に、クリントン米国務長官からは、我が国の支援に対する評価が示されるとともに、ハイチ地震への支援を通じて日米関係を強化したい旨発言があった。

（了）